

## 自分が大すき

桑野小学校 二年

原 綾汰

(敬称略)

「ぼくのいいところって、どこだろう。」

学活の学習の時間に、自分のいいところや友だちのいいところをしようかいました。ぼくは、自分のいいところってどこかなと考えました。すぐには、自分のいいところが見つかりません。元気なこえであいさつするところかな。力もちなところかなあ。いろいろ考えていると、ぼくは、先生や友だちに、

「りょうたくん、にもつをはこぶん手つだって。」

とよく言われるのを思い出しました。力もちのぼくを、みんながたよりにしてくれているんだと思うとうれしくなり、すぐに、

「うん。いいよ。」

と言って、はこぶの手つだいます。その時おもいにもつも、なんだかかかると感じるのがふしぎです。うれしい気もちが、体につたわっているのかなと思います。

友だちからぼくのいいところカードをもらいました。友だちが、「べんきょうのとき、先生の話がしずかに聞いているよ」と書いていました。ぼくは、二年生になって、はっぴようをいっぱいしたいから、話を聞くようにがんばっています。それを気づいてもらえたのが、とてもうれしくなりました。

先生が、

「だれにでも、いいところはありますよ。」

と、話してくれました。ぼくは、自分ではあまり自分のいいところを見つけないことができなかったけれど、友だちが見つけて教えてくれたことで、「ああ、ぼくには、こんなところもいいところなんだ。」と気づくことができうれしくなったし、なんだか自しんも生まれてきました。そして、ぼくは、まえよりも自分のことがすきになってきました。

いいところをしようかいしあったあと、ぼくの心と体は、あたたかくなっていました。友だちも、みんなえがおでカードを見てのに気づきました。これからもいっぱいいいところを見つけていきたいと思いました。